

平成19年10月30日

沖縄電力株式会社

平成19年度 中間決算について

1. 販売の状況

当中間期の電気の需要は、家庭用電灯や業務用電力などの民生用需要において、気温が前年に比べ低く推移したものの、お客さま数の増加があったことにより、前年同期を0.5%上回りました。

また、産業用需要においても、高圧電力A（契約電力500kW未満の小規模工場等）において、お客さま数の増加があったことにより、前年同期を0.5%上回りました。

これを電灯、電力別に見ますと、電灯が前年同期並みの15億55百万kWh、電力（特定規模需要含む）が0.8%増の24億49百万kWh、販売電力量合計では、0.5%増の40億4百万kWhとなりました。

（単位：百万kWh）

		H19中間期 A	H18中間期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B(%)	備考
電 灯 計		1,555	1,555	0	100.0	ご家庭の電気
業 務 用		1,440	1,413	27	101.9	ホテル、百貨店・スーパーなど
小 口	低 圧	307	317	△ 10	96.7	商店、運輸通信業など
	高 圧 A	233	225	8	103.5	食料品製造業、水道業など（契約電力500kW未満）
	計	540	542	△ 2	99.5	
大 口		446	451	△ 5	99.0	食料品製造業、水道業など（契約電力500kW以上）
そ の 他		23	23	0	98.4	深夜電力、臨時電力（工事用電力）など
電 力 計		2,449	2,429	20	100.8	
電灯電力計		4,004	3,984	20	100.5	
（再 掲 ）	特 定 規 模 業 務 用	312	315	△ 3	99.0	
	産 業 用 其 他	309	309	0	100.2	
	計	621	624	△ 3	99.6	

【参考】

（単位：百万 kWh）

	H19 中間期 A	H18 中間期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B(%)
民生用需要	3,325	3,308	17	100.5
産業用需要	679	676	3	100.5
合 計	4,004	3,984	20	100.5

2. 収支の状況

収支については、連結、単体とも平成15年度中間期以来4年ぶりの減収減益となりました。

収入面では、販売電力量の増があったものの、燃料費調整制度の影響やその他事業において前年同期に発生した大型民間工事の反動減などによる影響から、売上高（営業収益）は前年度に比べ2.1%減の830億25百万円（単体では、1.6%減の781億88百万円）となりました。

一方、支出面では、人件費の減少や償却進行に伴う減価償却費の減少に加え、経営全般にわたる効率化の推進、諸経費の節減に努めましたが、燃料価格の上昇に伴い燃料費が増加（前年同期比5.7%増）したことに加え、台風復旧などによる修繕費の増加や他社購入電力料の増加などによる影響から、営業費用は前年同期に比べ1.7%増の733億62百万円（単体では2.8%増の688億37百万円）となりました。

以上の結果、営業利益は24.0%減の96億62百万円（単体では、25.1%減の93億51百万円）、営業外損益を含めた経常利益については、27.6%減の77億1百万円（単体では、28.2%減の76億43百万円）、中間純利益は29.7%減の48億32百万円（単体では、28.3%減の48億79百万円）となりました。

■平成19年度中間期 連結決算成績（減収減益）

（単位：百万円）

	H19 中間期 A	H18 中間期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B(%)
売上高	83,025	84,834	△1,808	97.9
営業利益	9,662	12,717	△3,054	76.0
経常利益	7,701	10,632	△2,931	72.4
中間純利益	4,832	6,878	△2,046	70.3
1株当たり中間純利益	276円28銭	432円41銭	△156円13銭	63.9

（注）期末発行済株式数：H19 中間期 17,524,723株 H18 中間期 15,931,567株
 期末自己株式数：H19 中間期 35,652株 H18 中間期 23,798株

■平成19年度中間期 単体決算成績（減収減益）

（単位：百万円）

	H19 中間期 A	H18 中間期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B(%)
売上高	78,188	79,456	△1,267	98.4
営業利益	9,351	12,476	△3,125	74.9
経常利益	7,643	10,646	△3,003	71.8
中間純利益	4,879	6,806	△1,926	71.7
1株当たり中間純利益	278円97銭	427円86銭	△148円89銭	65.2

■平成 19 年度中間期 単体収支前年同期比較表

(単位：百万円)

		H19 中間期 A	H18 中間期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B (%)
経常 中間 収益	電灯・電力料	77,625	79,012	△1,387	98.2
	その他収益	833	814	18	102.3
	(売上高) 計	(78,188) 78,458	(79,456) 79,827	(△1,267) △1,368	(98.4) 98.3
中間 経常 費用	人件費	8,150	8,524	△374	95.6
	燃料費	22,875	21,642	1,232	105.7
	修繕費	7,105	6,384	721	111.3
	減価償却費	11,465	11,621	△156	98.6
	他社購入電力料	7,153	6,929	224	103.2
	支払利息	1,907	1,958	△51	97.4
	公租公課	3,622	3,601	21	100.6
	その他費用 計	8,534 70,815	8,516 69,180	18 1,634	100.2 102.4
(営業利益)		(9,351)	(12,476)	(△3,125)	(74.9)
中間経常利益		7,643	10,646	△3,003	71.8
税引前中間純利益		7,643	10,646	△3,003	71.8
法人税及び住民税		2,763	3,840	△1,076	72.0
中間純利益		4,879	6,806	△1,926	71.7

(参考)

		H19 中間期 A	H18 中間期 B	増減 A-B
原油CIF価格	\$/bbl	67.8	67.8	-
石炭CIF価格	\$/t	60.9	55.3	5.6
為替レート	円/\$	119.4	115.4	4.0

3. 利益配分

当事業年度の中間配当金につきましては、1株あたり30円といたします。

4. 平成 19 年度業績予想

(1) 需要見通し

平成 19 年度の電力需要については、前年度に比べ 0.9%増の 74 億 40 百万 kWh と想定しています。

(単位：百万kWh)

	平成19年度 見通し A	平成18年度 実績 B	増減 A-B	前年同期比 A/B(%)
電 灯	2,950	2,881	69	102.4
電 力	4,490	4,495	△ 5	99.9
合 計	7,440	7,376	64	100.9

(2) 収支予想

単体では、販売電力量の安定した伸びにより売上高の増加が見込まれるものの、修繕費や他社購入電力料、減価償却費などの費用増が見込まれることから、増収減益を見込んでおります。

また、連結においても、建設業において公共工事や民間工事の受注増を見込んでいるものの、情報通信事業において技術革新に伴うサービスの高度化や価格競争が進展しており、経営環境は引き続き厳しくなるものと予想しており、次のとおり増収減益を見込んでおります。

	連 結	単 体
売 上 高	(101.6%) 1,620 億円	(101.2%) 1,490 億円
営 業 利 益	(93.0%) 144 億円	(98.6%) 135 億円
経 常 利 益	(90.3%) 106 億円	(99.0%) 100 億円
当 期 純 利 益	(101.3%) 65 億円	(98.5%) 63 億円

(注) () は前年同期比

以 上